

令和7年度第2回文化財調査委員会議 会議録

令和8年3月6日（金） 滝沢市役所 3階 庁議室

開始時刻 13時30分

事務局進行：文化振興課長 岡田 久美

発言者	内容
(事務局) 岡田課長	<p>本日の会議は、委員5名中5名のご出席を頂いております。 滝沢市文化財調査委員会議運営規則第3条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しておりますので、本日の会議は成立することをご報告いたします。</p> <p>ただ今より、令和7年度第2回滝沢市文化財調査委員会議を開催いたします。</p> <p>はじめに、滝沢市教育委員会 教育長 太田 厚子よりご挨拶申し上げます。</p>
太田教育長	(挨拶)
(事務局) 岡田課長	<p>次に、「会議録署名人の指名」を行います。 会議録への署名につきましては、委員長と委員1名から署名いただくこととなっております。 今回は、中嶋委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員一同	(異議なし)
(事務局) 岡田課長	<p>それでは、中嶋委員よろしくお願ひいたします。 教育委員会事務局で会議録を作成いたしましたら、日程調整の上、署名を頂戴できればと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p>
(事務局) 岡田課長	<p>それでは、議事に入ります。 滝沢市文化財調査委員会議運営規則第2条第4項の規定により、委員長が会議の議長となることとなっております。 光井委員長、よろしくお願ひいたします。</p>

光井委員長	それでは、報告第1号 令和7年度滝沢市文化財事業実績について、事務局より説明をお願いします。
(事務局) 星野主査	(1) 文化財関係 について会議資料に基づき説明
(事務局) 井上総括主査	(2) 埋蔵文化財関係 について会議資料に基づき説明
光井委員長	では、事務局から説明のありました報告第1号の(1)の文化財関係について、皆様からご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。
中嶋委員	4ページの後継者育成支援事業について、出演団体に対し1回の出演で6千円を支給ということですが、それを何に使うかといった用途については特別定めてはいないということでしょうか。それとも、衣装などに限定する等、何か決まりがあるものなのでしょうか。
(事務局) 星野主査	用途は限定しておりません。金額の算出に当たっては、交通費相当を想定して設定しております。 また、関連して、郷土芸能まつりの出演料についても、今年度から増額し、団体の支援を行いました。各団体と協議しながら、今後も支援を行ってまいります。
光井委員長	後継者育成支援事業は今年度からの事業ということで、各団体にとって有り難いことだと思いますので、次年度以降も続けていただければと思います。
上白石委員	この事業について、使途を明らかにさせないで良いものなのでしょうか。きちんと領収書等を提出してもらいたいものなのではないかと思うのですが。
(事務局) 星野主査	今回の金額は、各団体から、各所への出演にあたって何にどのくらい困っているかという点を確認した上で、決定しております。使途を限定して、厳密にそれにかかった金額のみの支給という形よりも融通が利く形をとっています。

上白石委員	<p>用途をこちら側が限定するというのは良くないと思っています。そうではなく、何に使ったのかというのを把握すべきではないのかと思ったところです。</p>
(事務局) 星野主査	<p>3月中に各団体との個別の打合せを実施予定であり、郷土芸能まつりの振り返りや次年度以降の取り組みについて聞き取りを行う中で、奨励金の使途についても確認することを予定しております。</p>
光井委員長	<p>チョウセンアカシジミについて、4月に卵を13個確認したとあったのですが、これは昨年生まれた卵ということですよ。</p>
(事務局) 井上総括主査	<p>そうだと思いますが、判断は難しいです。</p>
渡辺委員	<p>最近幼虫が出たばかりの殻なのか、残っていた殻なのか、断言はできないのですが、去年確認したときにその場所には無かったので、おそらく最近の卵かとは思いますが。</p>
(事務局) 井上総括主査	<p>ただ、成虫は確認できなかったです。調査した時期が悪かったのか、もともと個体数が少なくなっているのか、見極めが難しく、来年度の調査も時期を考えなければならないと思っています。毎年気温が上がってきているので、どのタイミングで調査するのが良いのか、渡辺委員と相談しながら考えたいと思います。</p>
光井委員長	<p>前回の会議で、チョウセンアカシジミの食樹であるデワノトネリコが大きく成長して周囲の環境が暗くなってきたので、整備して少し明るくしたら良いのではないかという話がありました。環境を少し変化させることにはなりますが、それについてはどうなりますか。</p>
(事務局) 井上総括主査	<p>地権者の同意を得なければならないことなので、来年度、地権者も交えて協議しながら、どのように進めるか計画を立てていこうと考えています。その為に、長年チョウセンアカシジミの保護活動に取り組んでいる宮古市の職員等をお呼びして、どの木を切るか、切る順番はどうするか、はたまた枝払いだけにするか等、どのように進めるかについて助言をいただこうと考えています。来年度計画して、再来年度以降進めていきたいと考えていました。</p>

光井委員長	県内の内陸では、滝沢市と雫石町にしか分布していないということですが、市内では1か所のみなのでしょうか。
(事務局) 井上総括主査	今のところそうです。
光井委員長	4ページの、1月25日に実施された郷土芸能まつりについて、昨年度は中嶋委員が解説をされていたと思いますが、中嶋委員のご都合が悪かった等の理由で今年度は解説がなかったのでしょうか。
(事務局) 井上総括主査	そうです。予定が重なってしまいました。中嶋委員は今年度、北上市史の編纂に関わっておられまして。
中嶋委員	ちょうど、市史完成後に市民の方への講座を開く日と重なりました。
光井委員長	そうですか。ではぜひ来年はまたお願いできればと思います。大沢田植え踊りは団体の方が自分たちで解説をしていましたけれども、やはり全体の解説があった方がより理解が深まると思います。
(事務局) 井上総括主査	来年度はしっかり日程調整をしたいと思います。
光井委員長	そのほか、皆様からご意見・ご質問ございませんでしょうか。
中嶋委員	意見ではなく話題としてなのですが、私は現在さんさ踊りの調査をしておりまして、滝沢村と、すぐ隣の盛岡市の土淵地区との関連性を調べております。おそらくですが、滝沢村のさんさ踊りは明治時代までは遡れるので、そうなるのかなり価値が出ます。明治時代以前の資料というのは全く無いのですが、明治時代の資料があるということも非常に珍しいことです。つい数日前に、滝沢市内のさんさ踊りの関係者の方から、そのような資料があるということ伺いました。 滝沢市には他にも色々な地域のさんさ踊りがありますが、それらが現

<p>※前頁に続き 中嶋委員</p>	<p>状も活動されているのか、非常に気になっています。事業報告に出演団体の演舞記録を行ったとありますが、記録をとっておくのは非常に良いと思います。というのは、さんさ踊りの期限やルーツは全くわかっていないので、どこから始まって、どう広まったかというのは現状、分かっていないからです。土淵周辺と旧厨川村と滝沢村のことが分かれば、もう少し明確になるのではないかなと思っていました。また、付け加えますと、さんさ踊りと念仏剣舞がおそらく関連しております。滝沢市にも念仏剣舞があったということを聞き取りで伺っています。画像だけでも良いので、演舞記録を続けていただければと思います。</p> <p>これらは去年の事業の振り返りではなく、むしろこれからの話題かと思いますが、情報としてお伝えさせていただきます。</p>
<p>(事務局) 星野主査</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>光井委員長</p>	<p>その他、(1)文化財関係について何かありますか。無ければ、(2)埋蔵文化財関係について、皆様からご意見・ご質問ございませんでしょうか。</p>
<p>光井委員長</p>	<p>埋蔵文化財収蔵資料展示公開のところで、新採用職員研修と新任者教員研修について、ずっと続けて、定着してやってきていただいているので、とても良いと思っています。新しい方に埋蔵文化財センターの存在を知ってもらい、本物を見てもらうということは、ぜひ続けていただきたいです。このときに資料はお渡ししているのでしょうか。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>パンフレット等をお渡ししています。</p>
<p>光井委員長</p>	<p>併せて、今回新しく作成した市内文化財のリーフレットも、良く出来た内容なので渡せば良いと思います。</p> <p>また、7ページにあります鶉飼小学校3年生の社会科見学の火起こし体験は具体的にどのように行っていたのか、道具はどう用意したのかなどをお聞きしたいです。狙いとしてはどのようなことをやっていたのでしょうか。</p>

<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>子ども達はこればかりやります。回転式の道具で火をおこすのですが、3人1組で道具を1つ渡して、どのように火をおこすのかは自分達で考えながらやってみなさいという形にしています。コツが分かれば、分かった子からどんどん教えていくようになります。火起こし体験はいつも評判が良いです。ただ、小学生なので加減を知らずにやりすぎて、すぐ道具が消耗してしまうので、毎年買い替えが大変です。</p>
<p>光井委員長</p>	<p>前回の会議で、湯舟沢の環状列石について、入れ替える為の石が無いので見積もりを依頼できない等の話がありましたが、その後進展はどのようなでしょうか。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>業者に頼んで色々なところにあたりをつけて探しています。岩手町か八幡平市に採石場があるようで、そちらの方と協議しているという話でした。まだ正式な最終見積もりはいただいているのですが、その方向で検討してもらっています。</p>
<p>光井委員長</p>	<p>そのほか、皆様からございませんでしょうか。</p>
<p>上白石委員</p>	<p>先程の教育普及活用について、小学校3年生で定着しているというのは非常に良いことだと思いますが、中学生に対する働きかけが何かできないかなと思っています。特に最近、総合探求の時間がありますので、そういった働きかけができれば良いなと思います。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>埋蔵文化財センターも中学生が空白になっておりまして、何かの機会ですらこういった見学等ができればと思っています。今のところ中学校で見学は無いです。県立博物館はどうでしょうか。中学生は来ますか。</p>
<p>渡辺委員</p>	<p>無いです。やはり小学生ですね。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>この業界は、来館者の中で中学生が抜けていますよね。逆に高校生はたまに倶楽部活動のような形で先生と来ることはあります。学校全体としては来ないですが。</p>

上白石委員長	先生方も忙しいんですかね。
(事務局) 井上総括主査	そうなのかもしれないですね。子供たちにも「中学生になって今更埋蔵文化財センターか」という声があるのかもしれない。中学校の社会科見学はどこへ行っているのでしょうか。平泉等、世界遺産関係なのでしょうか。
渡辺委員	南部鉄器等、地場産業関係のところに行っているようです。
(事務局) 井上総括主査	そういうところに行っているのですね。今後中学生を対象としたものも検討していきたいと思います。
光井委員長	色々と情報収集しながら、方法を考えていただければと思います。
越谷委員	6ページの歴史体験事業の出前講座について、第2篠木なかよしクラブの方は91名とかなり人数が多いのですが、どういう方がいらっやって、また、どんなふうに勾玉作りの資材を調達されて実施したのでしょうか。 もう一つ、黙っていてもやりたいという希望が集まってくるのでしょうか、それとも募集をかけるのでしょうか。
(事務局) 井上総括主査	市から学校等に出前講座のパンフレットを配布していますので、それを見て来る場合と、埋蔵文化財センターでも色々な企画をしているので、PTAや子供会からの連絡の場合もありますし、第2篠木なかよしクラブは学童で、秋の行事で勾玉作りをやりたいということで、篠木小学校の体育館を借りて、親子で実施したものです。参加費として材料費だけ頂戴しています。 勾玉の材料は教材関係の会社からキットを購入しています。そのキットを職員が少し勾玉型に加工しています。加工した際に出た破片も、縄文玉作りという体験に使用しています。
越谷委員	勾玉は翡翠とかではないんですね。

<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>翡翠は硬いので加工が難しく、使用しているのは柔らかい滑石です。判子を作るのに使うような石材です。</p>
<p>越谷委員</p>	<p>同じく6ページの収蔵資料の再調査のところ、過去写真のデジタル化については、ある程度まとまったところから公表されていくのでしょうか。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>そうですね。今少しずつ進めているところで、まだ公開まで至っていないのですが、いずれは。</p>
<p>光井委員長</p>	<p>その他、皆様から無いでしょうか。では、報告第1号を終わらせていただきます。</p> <p>続きまして報告第2号 令和8年度滝沢市文化財事業計画について、事務局からお願いいたします。</p>
<p>(事務局) 星野主査</p>	<p>(1) 文化財関係 について会議資料に基づき説明</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>(2) 埋蔵文化財関係 について会議資料に基づき説明</p>
<p>光井委員長</p>	<p>では、事務局から説明のありました報告第2号について、皆様からご質問・ご意見ございませんでしょうか。</p>
<p>中嶋委員</p>	<p>市内文化財の巡視について、どのくらいの頻度で、どのような形で巡回しているのでしょうか。</p>
<p>(事務局) 星野主査</p>	<p>概ね月1回、当課の職員が定期的に市内の指定文化財を巡回しております。車で一通り巡回し、状態の確認と写真での記録を続けております。</p>

<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>また、大雨等の警報等が出た際にも巡視しておりました。地震や暴風雨の次の日等に巡回して確認しています。</p>
<p>中嶋委員</p>	<p>地元の方々にご協力いただいて行うような場面というのは、今のところ無いのでしょうか。</p>
<p>(事務局) 星野主査</p>	<p>巡視に関しては無いですが、整備についてはご協力いただいております。巡視で何か気づいたことがあれば、ご協力いただくこともあると思います。</p>
<p>上白石委員</p>	<p>民具保管庫の現状を教えてくださいたいのですが、メンテナンスとか掃除とか、特に薫製品が多いと思うのですが、そのあたりはどうなっているのか教えてください。</p>
<p>(事務局) 星野主査</p>	<p>まず、薫製品について、市役所裏にあります上田邸の年2回の燻蒸の際に、中に入れて一緒に燻蒸しています。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>民具保管庫は空気の入れ替えはしていますが、空調管理まではしてないので、現状維持という状態です。</p>
<p>上白石委員</p>	<p>掃除等はどのようにしているのですか。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>掃除は見学者が来る前に行う程度です。</p>
<p>越谷委員</p>	<p>9ページのチョウセンアカシジミの生息調査について、今年度の報告では、卵は13個見つかったけれども幼虫が見つからなくて、成虫も見つからなくてということで、不安の種かと思うのですが、先程お話がありましたように、ここ数年急に暑くなり、生息環境に影響があったのかもしれないといったことも含めて、来年度の生息調査の時期等はどのように検討されているのでしょうか。特に、今年度は卵が13個しか、たま</p>

※前頁に続き 越谷委員	たま見つからなかったのか、もしかしたらそこから推定すれば十分な数があると言えるのか、わかりませんが、今年度の評価をして、次年度の調査に活かすような、時期や方法があれば教えていただければと思います。
渡辺委員	実は、非常に少ないというのは間違いなくて、見落としがあると思いたいのですが、見落としが無いとすると非常に厳しい状況なのは間違いありません。これから計画する対応が間に合って増えてくれれば良いのですが、こればかりは何とも言えません。天候も従来と違いますし、前から食樹が大木化して暗い環境になっているという状況なので、私も不安な状態です。大丈夫であれば良いのですが。現状を把握しながら、やれる対策を何とかやっていくということで、上手く保全している宮古市の方に話を聞いてみるとか、上手くいっている事例を取り入れて何とかできればということだと思います。
光井委員長	大木化しているから、樹を新しく移植するというような案もあるのですか。
渡辺委員	他の保護している場所だと、根を残して樹を伐採して、ひこばえなり、新しい枝が伸びてきたりすると、そういうところで産卵したりという話もあるので。一斉に切るとそれはまた良くないので、一本ずつ何年か置きに切っていくとか、そういうことができれば良いです。
光井委員長	では、地主さんとの話し合いですね。
(事務局) 井上総括主査	そうですね。ただ、地権者は切ることにしてはたぶん同意されるかなと思います。貴方がやってくださいという断られるかもしれませんが、市の方で切るといえば、本人も邪魔なので切りたいという話をしていたので大丈夫かと思いますが。どう交渉するかによりますけれども。
越谷委員	大変かと思いますが、ぜひ、生息しなくなってしまうことの無いように取り組んでいただければと思います。

光井委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>それでは、報告第3号 文化財の現状変更申請について、事務局より説明をお願いします。</p>
(事務局) 星野主査	<p>1 岩手県立大学総合政策学部 辻 盛夫 教授より提出された現状変更等許可申請書に基づき説明。</p>
光井委員長	<p>では、事務局から説明のありました報告第3号 文化財の現状変更申請について、皆様からご質問・ご意見ございませんでしょうか。</p>
光井委員長	<p>現状、カワシンジュガイは融雪剤が影響を与えているのではないかという仮説があるのですが、それを検証するために今回実施するという事によろしいのでしょうか。水温が25度以上になるとそれもまた影響があるのですが、そういったことについて、現状はその影響で減っているのか減っていないのかわからないけれども、高速道路の関係で危惧されるので調査をするということなののでしょうか。</p>
渡辺委員	<p>木賊川で調査をすると、個体数はまだまだあるのですけれども、子供の貝が少ないという状況で、繁殖は行われているようだけれども、どうしても子供が増えていかないというところの原因として、一つ、高速道路の融雪剤由来の成分が影響しているのではないかということで、県立大学の方で調査をされています。やはり影響はありそうだということで、その証拠を掴むという点では、確かに④のような調査が必要かと思えます。このぐらいいるならもっと子供がいても良いのにと風、県外の研究者も少し驚くような状況ですので、そういう点では、原因を確かめることで今後の保全に役立つと思えます。</p>
光井委員長	<p>(幼生のカワシンジュガイがエラに寄生する) ヤマメ等は通常通り生息しているという環境でしょうか。</p>
渡辺委員	<p>そうですね。凄く多いという訳ではないですが、問題ない程度には生息しています。</p>

光井委員長	他に、皆様からご質問・ご意見ございませんでしょうか。
(事務局) 井上総括主査	実際に個体を採取して行う調査なのですが、市としては学術調査的な目的と、今後保存していくという目的があるので、その為であれば、15個体程度の減耗は仕方がないと思っています。もしこの内容で現状変更申請の許可を出して良いということになった際には、そういった目的であれば良いという条件を付けて許可を出すつもりです。
越谷委員	今の話で、滝沢市の例に限らなくて良いのですが、例えばカモシカ等、指定された天然記念物というものの生体を捕まえて解剖して調査する等といった場合は、天然記念物であっても、きちんとした理由があれば良いということでしょうか。
(事務局) 井上総括主査	そうですね。カモシカも、国や県で個体調査について許可をしています。また、県外の大学の調査で、DNAを調べたいということで、死体を検体として欲しいという要請がありまして、県からも協力してくださいと話がきていました。
越谷委員	市としては法律的に何か色々な手続きを踏まなければいけないというのはなくて良いということですね。
(事務局) 井上総括主査	そうですね。今回のように、現状変更という形で許可するものと捉えています。
越谷委員	もう1点、今回は遊水池の予定地ということで大規模な工事が行われて、その場所では生息できなくなってしまうたり、環境が変わったりと色々なことが起きると思うのですが、必ずしも上流側に新たな移植先を探すというのではなく、下流側であっても、そこに住めれば、あるいは環境が悪化しなければ良いということで考えてよろしいのでしょうか。
渡辺委員	そうですね。必ず上流でなければならないということではないです。いずれ流されて流下してくるので、上流の方が良いだろうということで

<p>※前頁に続き 渡辺委員</p>	<p>上流が選ばれがちなのですが、今回の環境を考えると、上流の方もかなり融雪剤の雪がある場所が多かったりするということと、割と下流の分水路であるとか、木賊川のずっと下流のところでむしろ稚魚が見つまっている、繁殖が行われているということがあって。</p> <p>木賊川もあまり環境が良く無さそうなのですが、意外という。将来的には河川の拡幅の予定地になっているので、少し心配です。分水路の方は新しく作られたところですけども、ここでもちゃんと繁殖している。これは諸葛川を遡上してきたサケがここまでくるので、ヤマメや、もしかしたらサクラマス等も来るのか、いずれ、魚との連携の方はこちらの方がむしろ良いです。これより上の、遊水池の上の方は、実は魚が上がりにくいところがあるらしく、ヤマメとの連携を考えると、むしろ下流の方が都合が良いというのがあります。</p>
<p>(事務局) 井上総括主査</p>	<p>盛岡市の運動公園の方にもいるという話を聞いています。</p>
<p>渡辺委員</p>	<p>そうですね。ただあちらの方が少し流れが緩やかで、泥が溜まりやすく、そういう場所だと窒息しやすい環境でもあるので、何かもう少し改善できると良いんだけどという話は聞いておりました。県立大学は着実に色々な成果をあげていらっしゃるので、今回の結果もこれからの保全に非常に有用になるのではないかと期待しています。</p>
<p>光井委員長</p>	<p>その他、ご質問ございませんでしょうか。</p> <p>では、カワシンジュガイの現状変更等許可申請については、承認することでご異議ございませんでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>(異議なし)</p>
<p>光井委員長</p>	<p>ありがとうございました。承認されました。</p> <p>これで議事を終了いたします。事務局にお返しします。</p>
<p>(事務局) 岡田課長</p>	<p>光井委員長、ありがとうございました。</p>

※前頁に続き 岡田課長	それではこれで、令和7年度第2回文化財調査委員会議を終了させていただきます。ありがとうございました。
----------------	--

閉会時刻 14時40分